

回																			
覧																			

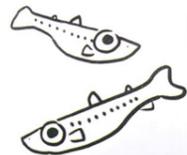
盛岡本町振興会 「さけの赤ちゃん放流会」の30年

盛岡本町振興会（松本 静毅会長）は、4月20日（日）、岩手県公会堂（内丸）にて「さけの赤ちゃん放流会」の30年を振り返るイベントを開催しました。

同会では30年余にわたり、中津川河川敷にて「さけの赤ちゃん放流会」を開催してきました。松本会長によると、地球温暖化の影響により海面水温が急激に上昇し、放流したサケが北上川から北太平洋に旅立つことができなくなり、中津川にサケが帰ってこなくなったといいます。そのため放流会を一旦休止することとし、今回放流会の歴史を振り返り感謝の気持ちを伝えるイベントが開催されました。

スライド上映により放流会の30年を振り返った後、東京在住のいきもの写真家平井 佑之介さんから、写真絵本「ふるさとの川をめざすサケの旅」の撮影の工夫やサケの一生に関する解

またいつか会おうね！
ありがとう 中津川



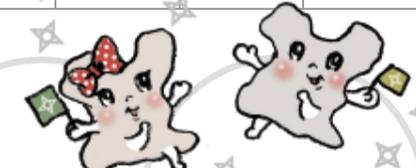
説が語られました。最後に、シンガーソングライター田口 友善さんによるミニライブが行われ、放流会のテーマソング「いってらっしゃいさけの赤ちゃん」を会場に集まった参加者全員で歌いました。

休止を惜しむ声が聞かれつつも、いつかまたサケが戻ってくることを祈って、中津川やふるさとを大切にすることを確かめ、盛岡の未来に思いを馳せる時間となりました。



つながるわ

Vol. 102



発行：盛岡市市民部市民協働推進課
〒020-8530 盛岡市内丸12-2
TEL：019-626-7535（直通）
（令和7年6月発行）



青山地区まちづくり協議会（遠藤 政幸会長）は、4月12日（土）、盛岡ふれあい覆馬場プラザ（青山2）にて「第10回青山さくらまつり」を開催しました。

会場では、青山清流太鼓や盛岡市立厨川中学校吹奏楽部による演奏、IGRいわて銀河鉄道株式会社によるクイズ大会などのステージイベントが行われたほか、盛岡市少年指導員連絡協議会によ



るクラフト体験、フィンランド発祥の「モルック」体験会の催しなどが行われました。桜の開花日前でしたが、春の陽気に誘われて子どもから大人まで多くの人が集まり、交流に笑顔の花が咲いていました。

同協議会では、平成24年度に青山地区まちづくり計画を策定し「人のわでみんな元気なまち青山」をスローガンに掲げ、福祉の向上、安全・安心なまちづくりや賑わいづくりに取り組んでいます。今後も同施設を会場に、赤レンガまつり、青山雪あかりなど様々な催しの開催が予定されています。

青山地区まちづくり協議会のホームページはこちら

NPOからのお知らせ

新たに設立認証した NPO法人のご紹介

特定非営利活動法人 漆文化遺産

【活動目的】

この法人は、日本古来の資源である漆の生産量確保と文化の持続的継承を図り、植樹を通じた漆の安定供給基盤の構築、漆文化に関する教育・伝承活動、国内外での漆の普及啓発、ならびに環境保全事業を行うことにより、漆文化の持続可能な発展を支え、創造活動の促進と地域社会への貢献を目指すことを目的とする。

【設立年月日】 令和7年3月14日

特定非営利活動法人とは？

「特定非営利活動法人促進法」に基づき法人格を取得した団体を、特定非営利活動法人（NPO法人）と言います。盛岡市が管轄するNPO法人は、令和7年4月1日現在で119法人あります。

NPO法人は、法に則って運営を行い、定款や事業報告、会計書類などを公開することが義務付けられています。法人の事業報告書等は、内閣府NPOホームページ（NPO法人ポータルサイト）において公開されているほか、市内のみに主たる事務所を有するNPO法人については、盛岡市市民協働推進課内（盛岡市役所本庁舎1階）で公開書類を閲覧することができます。

内閣府NPO法人ポータル
サイトはこちら



もりおか・地域の魅力を再発見！

市内では、様々な団体が地域の魅力を発信する取組を行っています。今回はその取組の一例をご紹介します。皆さんも普段何気なく過ごしている日々の中で、盛岡らしさとは何か、自分の住む地域の魅力とは何かを改めて考えてみませんか。

玉山藪川地区

「玉山藪川ガイドブック」刊行

玉山藪川地区福祉推進会（大平 憲光会長）では、道の駅もりおか浜民「たみっと」及び石川啄木記念館・盛岡市玉山歴史民俗資料館のオープンに合わせ、盛岡市地域づくり事業補助金を活用して「玉山藪川ガイドブック」を刊行しました。

同福祉推進会ではこれまでも地域の歴史や遺産を学び、後世に伝えることを目的に、神社・仏閣、旧跡や郷土芸能を紹介する「玉山藪川地区お宝マップ」を刊行していましたが、今回作成したガイドブックは、お宝マップの内容に加えて観光スポットや地元の特産品・グルメ情報も盛り込み、玉山藪川地区の多様な魅力を詰め込んだ内容となっています。

作成を担当した同福祉推進会地域づくり部 瀧澤 克範部長は「持ち歩きやすいサイズなので、ガイドブックを手にとり玉山藪川地区を見て回ってもらいたい」と話していました。

ガイドブックは道の駅もりおか浜民「たみっと」で配布しています。



「城南地区めぐり」電子ブック公開



鉤屋町界限

まちの文化と日常の魅力を伝える取組

特定非営利活動法人盛岡まち並み塾（海野 伸理事長）と市は、令和6年度に盛岡市市民協働推進事業補助金を活用し、地域住民の視点を用いた回遊ルートデザインによるまちの魅力増進・発信事業を実施しました。

この事業は、歴史的な街並みを有する鉤屋町界限の魅力を発信し回遊性を高めるために実施された事業で、鉤屋町界限の散策ルートや魅力を伝える音声コンテンツを作成し、公開しています。

①鉤屋町界限回遊ルートの作成

住民へのインタビューや、盛岡市立大慈寺小学校の児童、地域で活動する学生・社会人チーム「もりおかワカものプロジェクト」との協力により、鉤屋町界限の散策モデルコースを作成しました。

寺院群の自然と二つの清水「平成の名水百選」を巡る～四季折々の彩りと清々しい空気に包まれ心洗われルート～



②まちの魅力を伝える音声コンテンツの作成

共同井戸のせせらぎの音や、子どもの遊ぶ声、盛岡秋まつりの太鼓の音など、まちに暮らす人が日常的に触れる音を収録したものを作成しました。また、住民にインタビューした際の声を収録することで、「まちの人柄」を感じることができる音声コンテンツが完成しました。



散策ルートはこちらで公開中
（特定非営利活動法人盛岡まち並み塾特設ページ）



音声コンテンツはこちらで公開中
（もりおかワカものプロジェクト公式YouTubeチャンネル）



特定非営利活動法人盛岡まち並み塾のホームページはこちら



城南地区地域づくり委員会（泉澤 力委員長）は、平成23年度から「住みよいまち古都『城南』」をスローガンに、地域の魅力発信や安全なまちづくりのために事業を展開しています。

城南地区には、神社や歴史的建造物などの名所が豊富であることから、これらを地域の魅力と捉えて広く発信するため、令和元年度から城南地区の歴史や文化を盛岡弁で紹介する冊子「城南地区めぐり」の作成に取り組んできました。令和5年度に全5巻が完成し、県外から問い合わせがあるなど大きい反響がありました。遠方の人にも見てもらえるよう、令和6年度から同委員会ホームページにおいて電子ブックを

公開しています。

「城南地区めぐり」は、盛岡ふるさとガイド・花田 陽子さんを講師とする文化講座「盛岡弁で聞く城南地区昔語り」で語られた内容を編集したものであり、冊子を片手にまちあるきを楽しみながら歴史や文化を学べる一冊となっています。ホームページには、城南地区のマップ（歴史文化編・暮らし編）が公開されているほか、散策コースが紹介されており、城南地区のまちあるきを楽しむヒントが詰まっています。

城南地区地域づくり委員会ホームページはこちら

